

# 今週のひと

「21世紀を代表する鍵を創る」を胸に、カギメーカーを設立。電子錠に人生を賭け、世界を狙うセリユールの長島理恵社長の横顔に迫る。



セリユール  
(東京都中央区)  
長島理恵社長(46)

## 韓流ドラマを きっかけに起業

### プロフィール

1965年4月5日生まれ。東京都渋谷区出身。

### 座右の銘

「ライバルは自分、結果は後からついてくる」

### 起業のきっかけ

大手広告代理店、総合商社を経て、漠然と感じていた希望の光を頼りに39歳のときに起業を決心。きっかけは「韓流ドラマ」のカギがすべてオートロックでスタイリッシュだったこと。女性が好むデザインのカギをつくりたいと思い、電子錠の世界へ。たった1人での会社経営は想像を絶するほどの孤独との戦いだったが、「前職で得たコネを使わずに軌道に乗せる」と心に誓い、目標を達成するために目先の利益に飛びつかないと自分に課題を課した。そして地道な営業活動が功を奏し、徐々にオーナーや管理会社からの受注を増やした。今では、数百個単位で大手企業から受注を受けている。

ポリシーは「壁は乗り越えるしかないのだから、前だけを見て進むのみ」。

### 今後の展望 入居者目線だけではなく…

今春、レバーハンドル付きのメイン錠を新発売する。管理者専用の暗証番号やタグキーもあり、管理者側の利便性も考慮したものを提案していく。